新京日日新聞
夕刊
十二月廿四日（月）

昭和八年の回顧（四）

ペストに備ふ 全市は警戒に專念

新京署を通じて見た一年（D）

新京は傳染病の都として全滿で有名である。これが防止策として新京署衞生係並に新京消防隊衞生係で協力し必死の活動をなしてゐることは全市民が目に見耳に聞くことである。本年は人口の急激な增加にさもない依然その數を增してゐる、今新京消防隊衞生係の取扱つた本年一月以來十一月末日までの傳染病總數は七百二十名で、內死亡者八十七名の多きに達してゐる、昨年一ケ年に比すると發生六十六名、死亡二十八名の增加である各種別に見ると

赤痢三百三十名、死亡卅一名、腸チブス百七十一名、死亡二十六名、パラチブス四十五名、死亡四名、發疹チブス三十名、死亡二名、猩紅熱百二十名、死亡三十九名、痘瘡二十四名、死亡二名、ジフテリヤ十七名、其他四名、死亡二名である。

△……▽

なほこれらの防止策として積極的に活動をなしたものをあげれば年中行事である春秋二回の清潔デーを更に六、七、八の三ケ月間每月十五日に臨時清潔デーを實施し、汚物の取除けに從事した、續いて傳染病發生期前にコレラ、チブスの豫防注射をなした。注射を受けたものがコレラ一萬七千八百三十一名、チブス四千七百四十五名。なほチブス、赤痢の豫防錠を配付した數がチブス五千二百七十七名、赤痢六千五百六十三名であるが七月十一日から八月十一日滿一ケ月に亘つて五萬六千五十四名の保菌檢査を行つた結果二十一名の保菌患者を發見隔離した。この間同係では數回に亘つて防疫に關する宣傳ビラ通知書を印刷し學校生徒並に一般人に三千部を配付し、又は防疫ニュースを發行し各家庭に配附した

△……▽

赤痢、チブス、猩紅熱がやゝ終熄を告げるや、續いて全市民を戰慄せしめたのが八月十八日農安に發生したペストである。農安縣廳からの通知に接するや滿洲國衞生司、關東軍、滿鐵の各機關は首都新京に潛入を恐れ直に聯合防疫會議を開催し、現地に醫師を派遣し病菌檢査をなさしめ、腺ペストと決定すると同時に滿洲國側では興安總署、民政部衞生司から醫師、防疫班を各地に派遣したが、新京署衞生係消防隊では新京驛を主心に各隣接驛に防疫班を置き、農安地方から來京の者に對し嚴重な檢査を行ひ、又は列車內に巡査、防疫班を乘車せしめペストの侵入を防いだため非常なる好成績を揚げ幸にして新京には一人の患者も出さなかつたことは實に喜ぶべきことであつた

政黨解消聯盟組織に關し

松岡洋右氏聲明書發表

（東京國通）松岡洋右氏は既報の通り政黨解消聯盟を組織すると共に左の如く聲明した

擧國一致への基礎工作の爲政黨の解消の必要を感じ、最に政黨を脫退し代議士を辭するに至つた私は、今回私の主張と信念を全國民に徹底化する爲、政黨解消聯盟なるものを組織し、此の組織的國民運動を通じて所信を天下に問はんとするものである、私は苟も主義主張を同じくし、眞面目に祖國の現狀を憂ふるの人は凡ゆる階級層を通じて提携協力して進みたいと念願してゐる、此處に政黨解消聯盟の創立を宣して廣く同憂の士に訴へる次第である

在ハ日滿商議 北鐵當局に 運賃値下げ問題で折衝

（ハルビン廿三日發國通）在ハ日滿商議聯合會代表は廿三日午前十一時張副管理局長立會の上ルディ局長と會見、引續き午後一時より李督辦立會の上バンドーラ副理事長代理と會見、夫々北鐵運賃値下げ及國幣建變更要望の文書を手交し、回答を求める所あつた

將來の躍進を約束され 新站の近況

（新站二十三日發國通）拉賓線の開通によりその起點として將來の躍進を期待されて居る新站は現在の人口日人三百名（六十戸）鮮人五百名（百戸）、滿人二千三百名（五百戸）合計約三千百名（六百六十戸）であるが、近く〇〇線司令部衞戍病院、機關庫等竣工の曉には一躍現在の約五倍一萬五千名に增加する見込みであり新站驛は每列車二百名以上の乘降客を吞吐して新興新站の躍動を物語つて居る

卸物價指數總平均

（東京二十三日發國通）商工省發表によれば、十一月の十三部市卸物價指數總平均九九六〇で前月より八厘低落、前年同期より三分三厘の騰貴である

東株整理案を可決

（東京廿三日發國通）東株總會は午前十時より同所で開會東株整理案を上程する件を可決した

黑龍江省代表參集

大豆に對する金融方法協議

（ハルビン廿三日發國通）黑龍江省各地の縣長、參事官商務館代表等約六十名參集して廿二日當地中央銀行樓上に於て黑龍江省本年度の收穫大豆に對する金融方法に關する審議が行はれたが、その結果

一、大豆相場の安定
二、農民の苦痛輕減
三、春耕貸款返債の便宜等の目的貫徹のため大豆集散地に特產物共同販賣會を設置し大豆の保管及びその依託販賣をなすと共に中央銀行より特產金融をなすこと

等が決議された、而してこの共同販賣會は省內廿四ヶ所の大豆集散地に設け、圓滑なる金融を樹立して所謂豐作饑饉を解消せんとするものである

メートル法 豫算の關係で 五ケ年間延期

（東京廿二日發國通）明年七月一日より施行の豫定のメートル法は豫算の都合上施行猶豫期間を五ケ年間延期する事となり、閣議で決定上奏御裁可を經本年中に勅令で公布の運びとなつた、尚商工省は度量衡法改正に關する根本方針は變更せずと聲明した

經濟事情案內所の實績

關東軍特務部指令に基き本年一月十八日新京記念館內に事務所を開設した滿洲經濟事情案內所は本年度の事務終了の近づくと共に報告書作成中であつたが本二十三日完成したので各關係方面に提出するところあつた、右によれば單行調査資料二千三百十二、定期刊行雜誌類二千十五種の多きに達し更に案內事項としては開設以來本月二十五日迄に於ける諸事項調査の爲同所に來訪せる者は千二百四十六名書面による紹介は百六十八件に上つて居る

而して右兩者の紹介事項は輸出入商品の事情及び新京を中心とする經濟事情が最多で、次に滿洲經濟建設事情、企業計畫、各地方事情法令、交通及び運輸關係が占め、經濟事情の全般に亘つてゐるが、之を月別にすれば一月九名、二月十八名、三月三十七名、四月五十八名、五月九十二名、六月百三十名、七月百三十五名八月百五十三名、九月百五十九名、十月百六十八名、十一月百四十七名、十二月百三十九名、合計千二百四十六名、次に書面による紹介一月四件二月三件、三月十四件、四月九件、五月十三件、六月十七件、七月十五件、八月十六件九月二十六件、十月十件、十一月十八件、十二月二十三件合計百二十八件、である、而してこの外資料の刊行及び頒布、ソ聯紙及び支那紙蒐集整理、カード式資料整理、商業標語ポスターの蒐集貸出等に大車輪の活動を示してゐるが、同所の發展內容の充實は一般人の全經濟事情に對する興味のバロメーターとなるものとして、各方面より多大の注目を拂はれてゐる

日滿悲曲

生命線を行く（上映禁止）

國友雄吉
（荒川芳三郎畫）

（五十一）

惡い眼の男

「僕、見て來ませう」

鈴の音を聞くと、久彌は急いで出て行つたが、果して手に一葉の號外を持つて、間もなく戻つて來た。そして、なんとなく心配さうな顔をして――。

號外は、默つて渡され、默つて受取られた。

そして號外の上の眼を注いだ伸一の面は、見る〳〵深い憂色にとざされて行つた。

滿洲里事件の第二報を傳へてゐるその號外には、伸一を驚かすやうな、幾多の文字が記されてあつた。支那の叛軍の勢力は、意外に猛烈で、從つて在留日本人の被害も甚大であるらしいと憂ふべき記事であつた。

只、それだけのことでは、假に悲觀するにも及ばないが、しかしまた、安心も出來なかつた。

能ふことなら、飛行機でゞも、一ト息に飛んで行きたいくらゐに思つた。東京から滿洲里まで、汽車に船に一週間以上もかゝる長途の旅行は、現在の彼の場合としては、堪へられぬ苦痛であつた。

久彌も兄に對する同情で、氣持は一ぱいでありながら、もはや、兄を慰め、力づける言葉に窮した。

ちやうど、その時であつた。待合室の窓の外を、一人の男が通り過ぎた。そして窓越しに、その男の眼が、狙ふやうな氣味の惡い視線を、チラと伸一の方へ投げて行つた。

しかも彼の男。この時、初めてこの窓の外を通つたのではない。さつきから、もう五六度も行つたり來たり同じ擧動を繰返してゐるのだつた。

しかし伸一も久彌も、それには、ちつとも氣が付いてゐなかつた。

もつとも、氣がついたところで、兄弟は別に、氣には留めなかつたであらう。なぜなれば、その男は、まだ一度も見たことのない全然知らぬ男であつたからである。

その男は――？ 齢はもう四十を超てゐるかと想はれた。背丈は五尺五六寸もあるだらう、肩幅の廣い、がつしりとした體格の持主で、鼻髭の一つもやりさうな、鬚を生やした人物であつた。

彼もやはり旅に行くのか、身體に地味な服裝で、疊んだ外套と小さい鞄とを小脇に抱へ、片手には、太いステッキを握つてゐる。

彼の男。この時も亦、直に後戻りした。そして窓越しに、又しても、見ないやうな素振をして、伸一の方を、睨んで行つた。鳥打帽子の下に光つてゐる惡い目が、どうやら一ト癖ありさうに想はせる。

やがて、發車時刻が來た。

伸一は、いつかもう車內に乘り込んでゐた。久彌はプラットホームに立つてゐる。

見送る人、送られる人は、他に幾組もあつた。しかし伸一等兄弟のやうに暗く沈んだ氣持で相對してゐる者は無いやうであつた。

賑やかな笑聲が、時々、見送り人の群から起つた。伸一は、さうした人々が何となく羨ましかつた。

汽笛が鳴つた。汽車は、徐々に動き始めた。

「左様なら――」

「左様なら、兄さん。僕、待つてゐますよ。姉さんと坊やと三人で、早く歸つてください。きつとですよ」

久彌は、思はず汽車と歩きながら、力をこめて、別れの言葉をいつた。しかし、胸が一ぱいになつて來て、中途から、なにも言へなくなつてしまつて、只手を揚げて高くそれを打ち振つた。

伸一も、窓から半身を乘り出すやうにしてそれに應じた。そして彼の眼にも淚が光つた。

ところが、最前の男である。いつの間にか、同じ車內に乘り込んで、しかも、伸一のすぐ前の腰かけに席を占めて居るのであつた。

この男の、先刻からの擧動といひ、今また斯うして、伸一に近く席を占めたのといひ、どうやら故意に、さういふ態度を採つてゐるとよりは思へない。

惡い眼の男？ 彼は果して、何者であらう――？

皇太子御降誕の喜び

瑞氣に滿ちて更けゆく 大内山の第一夜！ 新皇子いと御健か

〔東京廿四日發國通〕皇太子殿下の御誕生で瑞氣に滿てる大内山の第一夜、廿三日夜は國を擧げての

『奉祝』に慌しくも暮れた二重橋の鈴蘭燈はお堀の水に美しく映え市民の慶びの姿は夜更くる迄絶えず、萬歳奉祝の聲は大内山の大奥迄こだまして、畏くも天聽に達し

天皇陛下にはいとゞ御滿悦の御模樣に拜されたと承る新皇子樣はいとゞ御健かにあらせられ、御産殿の御近くに御設けさせられた十疊餘りの御部室の御可愛いゝベツトで羽二重の御産衣を召されすやすやと御睡眠遊ばされ、第一夜より當分は小兒科の小山侍醫並に村山侍醫が交代に御當宿申上げ、梅林寺坂田の兩助産婦看護婦等が御附添として伺候する、此日 皇太后陛下を始め奉り御在京の各皇族殿下には御參内御祝賀遊ばされたが新皇子樣の御祖母 皇太后陛下秩父宮同妃兩殿下、閑院元帥宮殿下には特に新皇子樣に御對顔遊ばされたい、又柳原二位局を始め

『臣下』では一木前宮相奈良前侍從武官長が特に 天皇陛下に謁を給ひ御祝辭を言上した 天皇陛下には三内親王樣と御産の祝膳につかせ給ひ終日御奥は御慶びの氣分に滿ちてゐた

兩陛下に菱刈長官 御祝電を奉る

〔旅順國通〕皇太子殿下御降誕の報に接するや、菱刈長官は直ちに 天皇 皇后兩陛下に對し奉り御祝電を發した

御七日の儀

〔東京國通〕皇太子殿下御降誕第七日の二十九日に行はれる浴湯の儀、御命名の儀、御命名報告の儀の御次第は二十九日午前九時浴湯の儀に始り湯淺宮内大臣より御命名の御旨を勅使に傳宣、午前十一時御名記を 皇太子に奉ることゝになつた

貴衆兩院 賀表捧呈決定

〔東京國通〕御慶事賀表捧呈に關する貴院公正會本會議後、午前十時半議長室で開會賀表捧呈を可決、二十六日開院式當日院議に諮り近衞議長が捧呈するに決定、衆議院各派でも午前十一時協議の結果、開院式當日奉祝文を議決し、秋田議長が御七夜前後捧呈することに決定した

ル大統領 祝電を發す

〔ワシントン廿三日發國通〕ルーズヴエルト大統領は、皇太子御降誕の祝電を發した

皇太子御降誕で 首都警察廳の祝意

大日本皇太子殿下御降誕の報を拜承し二十三日首都警察廳では表門に國旗を掲揚し正午講堂に本廳員並に市内警察署幹部を集めて修總監より大日本皇太子の御降誕は皇室の御繁榮と日本帝國々運の益々發達することを拜察し眞に慶祝に堪へず、日滿合作に基く滿洲國民は友邦日本國民の慶びを想ひ全廳員と共に御慶び申上げる次第である

と謹話をなし濱島警務課長は日系官吏を代表して總監に對し御禮を申述べる處あり終つて、一同祝盃を擧げ、大日本帝國 皇太子、大日本帝國及び滿洲國の萬歳を三唱澄る慶びの裡に同三十分解散した

皇太子殿下の 御誕生を慶祝 ―菱刈大使謹話―

〔旅順國通〕今日大同二年滿洲國歷によつて二十三日の日を見てゐると

『王日』と書いてゐる、何れにしても、今日は佳き日だ、今日何心なくラジオに觸れた時偶然にも第一報のニュースが始められた、それから暫くして公電報が入つた、皇太子樣らしいことは、私にも豫感があつた、私は今日は何となく嬉しさが込み上げて來て號外を見てゐるうちに自然に涙が出た、これで日本も安泰となり、秩父、高松、澄の各宮殿下を始め其他の 皇族方は相當の御年配にて陸海軍の頭とならせられて居り 皇太子殿下を輔佐して行かれましたなら、我國は勿論滿洲國及び東洋平和は明して望まれるだらう、天皇陛下には益々御政務に御精勵遊ばされ、明治天皇樣のやうな御治績を發揮遊ばさるゝものと拜察されるから、我國の發展は眼に見へてある、御慶事に當り我小國民は非常に關心を以て居り、これ等の小國民が

『中堅』となつた際の日本帝國は推して知るべきだ、實に心からこの御慶事を御慶び申上げてゐる

歸國後の學良 上海に滯留か 舊東北要人諸準備に當る

〔奉天國通〕去る廿一日張學良より舊東北要人に宛てた電報によれば、張學良は來る一月八日上海に上陸、しばらく同地に滯在する豫定である、これにより舊東北要人も學良を上海に居住せしむべく住所選擇中であるが、一方張學良上海上陸後の警戒に當らしむ可く、舊衛隊を上海に派遣し、又華北に在つた舊東北要人は出迎へのため續々南下しつゝある

中央軍の飛行機 漳州を爆撃

〔厦門國通〕中央軍飛行機は漳州を爆撃し、十九路軍並に市民に當多數死傷を出した

駐滿大使館 年末年始行事

駐滿大使館の年末年始行事は左の如く決定して居る

二十八日 御用納め
二十九日 以後休廳
三十日 臨事執務
三十一日 休廳
一日 午前十一時四十五分大使官邸に於て大使館員及新京總領事館員の拜賀式を行ひ同十時より十一時同・樣官邸に於て一般在留民の拜賀式を擧行す、同十一時十五分菱刈大使は谷參事官吉澤、林出、花輪、鶴見の各書記官、郡司通譯官、井上、桝谷の各書記官及岡村大使館附武官、辰己同補佐官、後藤、森海軍武官等を隨へ拜賀のため執政府を訪問同十一時三十分執政に拜謁の上賀を致す、正午官邸に歸着の上記念撮影を行ふ、同零時三十分西廣場小學校で新年御禮會開催、同二時執政代理答禮のため菱刈大使を官邸に訪問
二日 臨時執務
三日 休廳
四日 臨時執務
五日 休廳
六日 通常執務

司法省早くも 恩赦の件を協議

〔東京國通〕司法省では早くも刑事局書記官會議を開いて調査研究を行つたが 皇太子殿下御降誕のあらせられた御事は刑法發布以來御始めてのことで從つてこの御慶びに對する恩赦の行はれた前例は無いが前例なくとも當然恩赦の御沙汰を奏請すべきであるとの意見頗る濃厚であり、閣議の席上で小山法相が全閣僚に諮つて奏請すべきや否やを決することゝなる模樣である、而して右は目下死刑執行を待つて居る佐郷屋及び五、一五事件被告等愛國犧牲者の如き政治犯に對しては全國的に減刑嘆願運動が行はれただけに非常に注目されて居る

親王御降誕で 雀躍の市民

〔四平街支局發〕親王御降誕の四平街ではサイレンを以て一般市民に報導するや全市民雀躍して各戸は御慶事を壽く日の丸の旗掲揚さる中に午後二時より四平街神社に於ては、武田中將、警察署長、地方事務所長其他日滿官民多數列席の下にいとも嚴肅裡に御降誕報告祭を執行した

閑院宮樣 滿鐵の車輛工作 御嘉賞

在京中の滿鐵々道部工作部長から鐵道部長宛次の電文を寄せた

電文

本日閑院參謀總長宮殿下に拜謁仰付けられ會社が今次事變中特に車輛工作業務に努力したるを御嘉賞あらせられ小職光榮に感激して退下せり、右部員各位に傳達方然るべく取計ひ乞ふ

滿鐵辭令

新京驛操車方事務員 足立龍
同 黒木善盛
構内助手を命す（各通）

改組問題中央に 滿鐵自体は表面に出ぬ

〔東京廿四日發國通〕滿鐵正副總裁を始め各理事も上京し、關係各官廳との間に於ける折衝、報告に依り改組問題は茲に大体中央政府に移牒されて、總會も亦無事終了して、十河、竹中兩理事を除き、總裁、山崎理事も年内には歸滿の筈、而して改組問題に對する滿鐵今後の態度は今回首腦部の上京に依り、同問題は完全に中央に移牒されたといふ主義の下に滿鐵自身表面に出る事は之を避け、現地でも積極的に關東軍等と折衝はせぬ方針の模樣である

中央社會事業 聯合會を設く

滿洲國政府では三千萬民衆の福利增進のため、曩に奉天、吉林、黒龍江三省並に新京、ハルビン特別市に社會事業聯合會を組織したが今回更に之を相互的に連絡し、且つ統制する必要ある爲め近く中央社會事業聯合會を組織する事となり、之れが準備のため民政部内に籌備委員會を設立した、尚委員長には竹内民政部總務司長、副委員長には地方司長社會科長を擧げ具体的準備に着手した

新關税法では 日英間に益々大巾な開き

〔デリー二十三日發國通〕印度の雜貨關税改正案を檢討するに、形式上時價三割とか五割とか云ふ數字を掲げ新從量税と並べて何れか高い方を採ることになつて居るが、低廉な邦品は大部分從量税化されその中にはメリヤス其他十割内外の禁止的高率なものあり而も英製品たるや從價税を採用し夫れも一搬より一割安と言ふ關税を附して居るので日英の差は極めて大巾で結局日本からは印棉輸入し、その代償として綿布を輸出する以外には何も印度に送れぬ樣にするオツタワ、ブロツクの現れかとも觀られる

印度立法議會に 提出された關税改正法案

〔デリー廿二日發國通〕印度立法議會に印度關税改正法案が提出されたが、右規定の卅二項目中新たに種目を細かくして

『關税』を引上げられたもの十五、種目はその儘として税率を引上げられたもの七、これを詳細に分かてば、實に三十數項目に亘つて引上げられたこととなる、其中で最も顯著なものはゴム、ゴム靴の關税從價二割若しくは從量税四アンナであつたものを二割五分若しくは六アンナに引上げたもので之は種類によつては從價十割にも相當することゝなるものがあり、昨年の引上げにより既に大打擊を受けて居た關係上今回は愈よ致命的影響を受けるものとみられてゐる、又人絹並に人絹交織物を從價三割五分から五割への增加も相當大きな且つ新たに兩分された綿メリヤスシヤツの從價二割五分又は一打十アンナの何れかの高き方を課税する等は市價から云へば從價五割に相當するものである、鉛筆の從價三割か一打一アンナも市價十割の高率に當り、アウトニフエント（綿布の一種）は從來雜貨並に從價二割五分を課せられてゐたものが、平織生地綿布以外の

『綿布』に編入され七割五分を課せられることゝなり影響の最も大なるものである

堀尾農林技師 滿洲國馬政局入

豫て滿洲國馬政局入りを懇望されてゐた馬政、殊に馬匹改良方面の權威者、農林省技師堀尾正朔氏は去る十六日着任した、因に同氏は高種馬牧場、福島種馬所長を經て農林省馬産課に入り、最近種馬購買の爲エジプト、シリア地方に出張を命ぜられ歸朝早々の着任である

大正天皇祭 遙拜式擧行

新京神社に於ては明二十五日大正天皇祭に際し午前十時より例年の如く嚴かなる遙拜式を擧行する筈であるが團体其他多數參列せられたしと

年末年始に 交通嚴重取締 首都警察廳で實施

首都警察廳に於ては左の要領で年末年始に際し特に嚴重なる交通取締りを施行する事となつた

一、左側通行を勵行し濫りに車道を歩行せしめざること
二、道路上に於ては如何なる方法に依るも廣告宣傳ビラ等を撒布せしめざること
三、廣告物、商品其の他の物件を濫りに道路上に放置せしめざること
四、賣出し其の他臨時に設備する廣告物店頭裝飾等は堅牢なる材料を用ひ道路を跨ぐ店飾に對しては四米以上（歩車道の區別あるものは歩道のみに限り高さ地上三米突五〇以上）の高さを保持するに非ざれば許可せざること
五、賣出しの廣告店飾又は松飾等は交通の妨害とならざる樣設備すること、特に之等の設備は燈又は電話の引込線に接觸せざる樣留意すること
六、指定區域外には露店を出さしめざること、特に大馬路及曲角に於て行商物品販賣をなさしめざること
七、乘用馬車人力車空車にて交通頻繁なる道路に駐車し又は乘客勸誘の爲濫りに徘徊せしめざること
八、車馬に不体裁なる裝飾をなし廣告宣傳の目的を以て通行せしめざること
九、道路工事は可及的左の各號に準據せしめること
一、商店街は十二月十五日迄其の他の場所にありては十二月廿五日より翌年一月五日迄又大同三年二月五日より廿日迄掘工事を施行せしめざること
但し工事中のもの又は緊急を要するものに在りては必要に應じ警察署を經て認可を受くべし
二、新に着手せんとするものにありては事態止むを得ざるものを除き前項の日限後になさしむること
三、道路使用に就きては前項に準じ許可すること

日人と結托の 不正脫税商 一齊彈壓

〔吉林二十四日發國通〕滿日商人に對する滿洲國側の課税權なきを奇貨とし、日人と結托して巧妙なる雇傭契約により恰も共同出資の如く見せかけ日人を店主として更に脫税品を廉賣して不當なる暴利をむさぼる奸商が激增してゐるとの噂あり、警務廳に於て嚴重探査中のところ九臺縣の大同洋行、同泰行等館記の奸商が發覺して嚴重取調べを受けてゐるが、尚この種の不正商人は各縣に亘り相當根強くはびこつてゐるものゝ如く當局では近く一齊彈壓を加へる模樣である

住友愛國 恤兵會に 卅萬圓を寄贈

〔チチハル國通〕住友は戰傷病救恤を標榜する愛國恤兵會に賛成して卅萬圓を寄贈に決定した

大正天皇祭休刊

明二十五日は 大正天皇祭につき恒例により二十六日附朝夕刊とも謹んで休刊致します

共産黨幹部オ氏 國外追放と決定

〔ハルビン國通〕北鐵阿什河驛々員にして有力なソヴイエート共産黨幹部たるオストロフスキーは三ヶ月前その露骨な煽動宣傳、赤化運動のため路警署に於て逮捕監禁を受けてゐたが、この程愈よ滿洲國より露領へ追放される事となつた

オランダ汽船 住吉丸乘組員を救助

〔橫濱國通〕ボルネオから入港したオランダのチスラー號は二十二日大島西方沖で遭難した住吉丸の六名を救助したが他は行方不明である

岡山縣の安田 保善社所有地を 飛行場に充當

〔岡山國通〕安田保善社は岡山縣邑久郡長濱村に百萬圓を投じ、土地百町歩を開墾したが、灌水のため利用に惱んでゐたが今回右を飛行場と飛行學校に充てる事に決定し名古屋帝國飛行學校長や關係方面と交渉してゐるが、橫三町と縱八町の飛行場と、名古屋飛行學校分校が設立される模樣で、中國方面の空の護りにならんとしてゐる

人事往來

▲奥野大尉以下〇名（歩兵第〇〇隊留守隊）二十三日午後三時二十五分着哈市から
▲對邊氏（吉林憲兵第〇〇隊長）同上
▲磯田中尉以下〇名（鐵道第〇〇隊第〇〇隊）二十三日午後四時三十分發鐵嶺へ
▲消下少佐（第〇〇〇隊附）同上公主嶺へ
▲大塩鑑次郎氏（關東廳警務局長）二十四日午前九時發南行
▲御厨外事課長（關東廳）同上

きのふ生れた光榮の赤ちやん
女學校佐藤先生宅の喜び　玉のやうな男の兒

新皇太子殿下御降誕の良き日同じ日に生れる光榮に浴した家庭はないかと本社では二十三日早暁から各産婆さんや醫院その他を各自手別けして捜したところ、あつた〳〵きのふ午前四時三十九分（滿洲時間）玉のやうな男の子が生れた榮譽の家庭がある

この滿洲丈夫を分娩したことよなきお目出度な家庭といふのは羽衣町二丁目〻號佐藤忠氏宅である、奥さんの佐藤きみ(三二)さんが自宅で分娩した

『時刻』は二十三日午前四時三十五分、皇太子御降誕時刻は新京時刻の五時三十九分であつたから正味一時間四分早く誕生したことになる、と或る一女生徒にそれと聞かされた記者は羽衣町の佐藤宅を訪れると先づ門に皇室の御慶事を壽ぎ奉るとともに自家の喜びを祝ふ國旗はさこさなく晴々として旭日に飜つてゐる、庭も狹しと枝を交へた松梅は練瓦塀にさしかゝつてゐる、ボタンを押せば長男の文男さんと愛犬ポチに迎へられて女中に來意を告げたら、流石喜びを包みきれず奥様に取次ぐ

『産室』のきみ夫人は丸々太つた赤ちやんに乳を授けながら思ひがけなくもこの皇室のお慶びと日も時も同うしてしかも男の子(二男)を産んだことは自分ながら畏いやうな氣持ちがいたします、せめて大事に育てゝ皇恩の萬分の一でもお返しするため兵隊にして國家皇室のみ爲に立たせようと今から望んでおります、これがこの母親としての念願です

と奉天鐵路總局に勤務中の主人に代つて夫人は語つてゐる内に母の胸にだかれた滿洲丈夫はすや〳〵と夢路をたどつてゐた、なほ同家で出産後体重身長を計つたのによると

身長　五〇、七センチメートル
体重　三二五九グラム

なほ母親きみ子さんは大正十五年春以來新京高等女學校に教鞭をとり、今なほ同校五年生を受持つてゐる

軍隊歳末慰問　來る廿六日に

新京時局後援會では歳末慰問として在京各駐屯部隊にそれ〴〵慰問金を贈ることになつてゐたが（既に贈つたとありしは誤り）來る二十六日荒木會長を始め區長代表、在郷軍人分會長ら打伴れて各隊を訪問それ〴〵挨拶のうへ金一封を手交するはずである

海軍大學の視察團顔觸れ

海軍大學職員學生の滿洲視察團一行二十九名は二十三日東京出發朝鮮經由視察のうへ二十九日午後一時五十五分來京するが一行の顔觸れは

教頭、近藤信竹少將、教官、桑田市郎少將、藤田利三郎大佐、山崎重暉中佐、田部義雄、今泉英三兩機關大佐の職員六名と甲種學生少佐五名、大尉五名、機關學生機關大尉十三名

で滯京の日程は菱刈關東軍司令官並に小林海軍部司令官を正式訪問するほか駐滿海軍部の案内で寛城子戰跡、飛行〇〇隊、國都建設局、西公園忠魂碑などを訪ひ市内見學することになつてゐるが三十日午前十時發ハルビンに向け出發一月一日午前九時着で再び新京に引返し二日午後十時南行の豫程である

愈よあすから　第三期特別警戒へ　水も洩さぬ警察陣

新京署、同總領事館署、首都警察廳並に管内各署の歳末特別警戒は愈よ二十五日から全署を揚げ一齊に第三期警戒に入り各署とも連絡を保ち全員總出動で首都の盗犯防止にあたることになつた

協和會で　諮問會を開く

滿洲國協和會は昨年七月成立以來着々その効績を收めつゝあるが新京中央事務局に於ては、明二十四日午後二時より中央滿東亞産業協會々議室に軍側第二、第三、第四課長、滿洲國側總務廳長、次長、人事秘書、主計、情報各處長及び各部總務司長の出席を求め、大同二年度に於ける協和會の事業報告及び大同三年度の宣撫、思想取締、會員組織に關する事業方針に關し諮問會を開催することになつた

軍用犬協會　旅順で發會式

高柳中將を會長とする滿洲軍用犬協會の發會式は、二十四日旅順に於て擧行日滿官民多數列席し、滿洲軍用犬の增殖と畜犬思想の普及向上をはかる圖ことなつた

青島上海視察の　締切延期

既報、ジャパンツーリスト、ビューロー主催年末年始休暇利用青島上海視察團は二十三日〆切を沿線各地とも二十八日までに延期した

吉野町一ー三丁目　當分車馬通行制限

市内吉野町一丁目から三丁目までは商店街は二十四日から三十一日まで毎日午前九時から同午後十時まで車馬通行を禁止することになつた

新京に初めて　エレベーターがデビユする　三菱ビルの大建築

市内新發屯に既に地下工事を終り明春早々に上層工事に着手することになつてゐる三菱ビルは地下一階、地上四階、延坪四千二百坪の最高級建築物で同ビルにはエレベーター二基を設置することとなつてをり竣工の曉は新京にもはじめてエレベーターがデビユーするわけである

滿鐵土地係に　電話開通

新京地方事務所土地係では從來水道係の公衆電話を共用して市民に尠からぬ不便を感ぜしめてゐたが二十三日から新に土地係專屬の公衆電話（四九九八番）を新設し市民利用者の便宜を計ることにした　なほ水道係の電話は從前通り二九〇六番である

四平街荒しの　狂暴な犯人逮捕

（四平街支局發）去る十二日午前九時頃當地滿洲街南一條路上に於て密行中の當署刑事隊は擧動不審の一滿人を發見検束取調べた處此奴は昌圖縣八面城居住張魁峰(三六)にして昭和五年十二月二十四日四平街大正街（守備隊前）義和盛に於て一味十名にて侵入現金千六百圓衣類千八百圓強奪逃走、昭和六年滿洲事變突發するや頭目江北紅と双山縣寶子に於て集結し騎馬隊七四名を組織し双山縣下を暴れ廻り、再び頭目二十四名の合流賊團にて昌圖縣商務會を包圍六萬圓を強奪、七年四月九日四平街慶安街一丁目聚豐合事曲豐恒方に一味八名にて侵入店員白永昌を射殺現金二千八百圓衣類三百五十圓を強奪たるに戰慄すべき狂患なる犯人と判明、最近張は徒食しつゝあつたが去る十二月十二日四平街滿洲街馬車屋を一味四名と共に襲ふべき計劃を以て拳銃を所持し四平街に侵入したるを事前に逮捕されたもので一味四名の中他の三名は逃走したが十四日孤榆樹自衛團の爲二名逮捕、一名は逃走目下嚴探中である

鉈で斬りつく

（四平街支局發）去る二十二日午前六時三十分頃當地恰和街二丁目居住の孫緒公(三九)方に宿し居たる孫憲文(二九)は突如所持の刃渡八寸の鉈を振り翳して孫緒公にきり付け孫緒公の頭部に瀕死の重傷を負はせ且つ被害者の實弟に右前ハク部に傷害を加へたるも被害者兄弟も重傷に屈せず一大亂闘を演じた孫は折から急報に接して馳せつけた四平街署員の爲め取押へられたが私怨を晴す爲めに殺害せんとして此の擧に出たものであつたと

大同電氣富田　專務設宴

（四平街支局發）大同電氣會社富田專務は二十二日午後五時半から料亭松屋に在四新聞通信記者を招き一夕の清宴を張つた　キ客猛者揃ひのことてかくし藝十八番もの續出のうつゝを知らず十二分に歡を盡して散會したのは午後十時頃であつた

松の内を ―どうして過すか　新京知名士に聽く（A）

正月、舊年一年間の垢をサラリと洗ひ落して「新年の御慶を目出度く申し納め候」と、年始回禮で、天下晴れて千鳥足の醉態を現出、何も彼もお目出度づくめの正月を人々は一体どうして暮す、先づ新京の名士の新年のプランを聞いて見る

菱刈將軍

二位一体の具現者、菱刈關東軍司令官は、廿六日頃まで旅順にあつて、關東廳の事務を管掌、それから歸つても滿洲は戰時狀態にあるので、新年は、一、二、三日、五日だけしか休まず毎日軍務に精勵されるわけである、そのため幕僚も亦正月を戰時氣分で送らねばならぬわけである

地方事務所長　荒木章氏

私は事務が事務ですから互禮會や種々の仕事があり正月は正月らしく暮すことは出來ません、まあ家で、年賀を受附けるのが精一杯です

同地方係長　山内敬一氏

私は長らくの間郷里の父母のもとへ歸りませんでしたから歸郷して來ます父母も歳ですから無事な中に一度會つておけば安心しますから、今年は地方の方の年始は欠禮して年賀狀で許してもらひます

東拓支店長　渡邊得司郎氏

正月には教化の方に雑事ちに出かけます、獵は、運動にもなるし、樂しいものです、觀察をかねた獵です

正金支店長　栗原重康氏

私は年末まで仕事をするのでゆつくり旅行も出來ません温泉なんか行つたら却つて五月蠅いだらうと思ふから、正月は新京で寢正月します

輸入組合理事　久末吉次氏

まだ予定はないが、賣出中だから新京で、三十一日まで商店の走使ひをします、正月も子供の時は樂しみでしたがこうなるとさう駄目です

朝鮮人酌婦の　厭世自殺

市内富士町三丁目二十番地朝鮮料亭平洋館抱へ酌婦鄭在爾(二三)は二十三日午前九時ごろ阿片を多量に嚥下し午後七時絶命した原因は厭世自殺

藤澤博士逝去

（東京廿四日發聯通）貴族院議員東大名譽教授藤澤利喜太郎博士は一昨日來氣管支炎を患ひ、療養中であつたが廿三日午後八時十五分逝去した

街の日記

森報知記者結婚

報知新聞新京支局詰記者森義夫氏は滿洲國國務院總務廳大杉俊一氏夫妻の媒酌で報知新聞新京支局長中西眞氏令妹絹子孃と婚約整ひ二十七日市内大和通り大陸春で結婚式を擧げ披露宴を催すと

長春座愈よ開館

本月初めより内部改善の爲休業中にあつた長春座壁の塗替疊の入替、煖房具の改良等終了したので愈よ正月前の二十六日頃開館して松竹との提携で豪華版封切り上映の模樣である、尚サービスガールの如きも若いところを揃へて御氣嫌を伺ふと言ふ事であり過般新京キチマ館落成し更に長春座の改善とにより、キチマファンに取つては頗るよきニユースである

雜誌記者員の忘年會

新京雜誌記者協會員二十一名は二十二日午後六時半から料亭八千代で忘年懇親會を催し加藤幹事長から會務會計の報告滿洲改造島木氏から來年度の行事に就て會員に諮り可決寛談十一時盛會裡に散會した

日曜講話（午後一時三十分より）於西本願寺

▲眞實の敎　岡田布敎使
▲白道を歩みて　光岡主任布敎使

プランタン開業

今度永樂町一丁目花本の向側に出來たカフエー「プランタン」年末迫つた二十四日開業したが佛語の春と誠に朗らかの店だ主人公は向側食道樂花本の愛任名義人春山君兩人共に大使館に勤務と言ふ變り種で總て女給委せお馴染の麗子さんを初め粒撰りの顔振れ數れも新京に馴染の女給揃ひ二十三日記者連を招待してサービス振りを示したが相當なもので仲々評判がよい

拾ひもの

▲羽衣町二丁目植田鐵一氏は二十三日午前八時三十分ごろ自宅前でクローム側腕時計一個時價二十圓を拾つた
▲日本橋通三十三番地岡田幸子さんは二十三日午後零時ごろ現金三十錢を自宅前で拾つた
▲城内五馬路二二〇四號馬車夫趙擇村氏は二十三日午前八時三十分ごろ新京白貨店前で馬車上に置き忘れてあつた滿鐵制服オーバー一枚を拾つた

落しもの

▲老松町大使館々舍江口ひろのさんは二十三日午前十時卅分ごろ新京百貨店前でハンドバツク一個在中現金廿七圓余、化粧道具を落した
▲關東軍特務部古賀岩三氏は廿三日午後十時ごろ日本橋通八十番地前から馬車で同通五十一番地先で下車の際洋服上衣一着を置き忘れた
▲祝町二丁目四番地泰和洋行内金澤重彦氏は二十三日午後二時ごろ電線一卷時價三十五圓を客馬車上に置き忘れた
▲日本橋通二十七番地料亭開花内山本ワカエさんは二十三日午後三時四十分ごろ新京白貨店前で現金三十四圓を落した
▲東五條通五番地森田知年氏は二十三日午後五時三十分ごろ三笠町で現金七十四圓を落した
▲吉野町大丸旅館止宿久芳源二郎氏は二十四日午前八時ごろ吉野町一丁目日新堂前で現金三十五圓を落した

盗難屆

▲吉野町二丁目二十八番地峯長春堂こと峯直氏所有の自轉車一臺二十三日午後六時ごろ自宅で窃取された
▲東一條通二十二番地新京購買組合店員劉園亭氏は二十三日午後一時二十分ごろ料亭八千代前で自轉車一臺を窃取された

……氏長男秀滿さん十五日出生

ラジオ欄

二十五日（月曜日）大正天皇祭　新京
午後五時〇分　子供の時間　子供の音樂（レコード）（奉天より）
五時三〇分　演藝（鮮語）
六時〇分　ニュース（東京より）
六時二〇分　ニュース　氣象報
六時三〇分　大正天皇祭に當りて（奉天より）紀念講演　奉天教育研究所長　畑中幸之助
七時〇分　演藝（滿洲語）奉天より
同　七時三〇分　講演（滿語）
同　八時〇分　ニュース（滿語）
同　氣象通報、番組豫告（滿語）
同　八時三〇分　時報（東京より）
同　八時三一分　ニュース（東京より）
同　八時四五分　演藝　尺八獨奏と長唄
一、獨奏　大禮樂　森壽童　越後獅子
二、連管　長唄　一部、森壽童　二部、井上鮮童　三部、阿波野福童　三絃、山村春子

△注　皇太子殿下誕生奉祝放送中のためプログラムに變更を加へることがありますから御注意下さい

二十六日（火曜日）新京
午後五時〇分　謹んで皇太子殿下の御誕生を祝し奉る　新京室町小學校長　上小穐豊
同　五時三〇分　ニュース（英語）
同　五時四〇分　ニュース（獨語）
同　五時五〇分　ニュース（鮮語）
同　六時〇分　ニュース（東京より）
同　六時二〇分　語學講座（滿語）高宮戒逸
同　六時四〇分　語學講座（日語）植松金枝
同　七時〇分　演藝　群仙小桃
同　七時三〇分　講演（滿語）
同　八時〇分　ニュース
同　八時三〇分　時報　氣象通報、番組豫告（滿語）
同　八時三一分　ニュース（東京より）
同　八時四五分　ニュース　氣象豫報
同　九時〇分　演藝（奉天より）
引續きプログラム豫告

十二月二十六日　舊十一月十日　火曜　丙寅　友引　滿　室宿

●一白の人　人に施す勞を惜まざれば福は後に返り來る　乙と丙と亥が吉
●二黒の人　物事に屈托せず樂天的氣分にて處理すべし　丁と辛と壬が吉
●三碧の人　萬事進み行はるゝ時は利益を齎ぐる幸運日　乙と坤と亥が吉
●四綠の人　一家の和合は家道益々繁榮の基となる吉日　乙と申と亥が吉
●五黄の人　心靜かに分限を守れば萬事調に展開し來たる　庚と壬と丑が吉
●六白の人　安心に過ぐれば後より苦悶の附纏ふ事あり　甲と丑と寅が吉
●七赤の人　着實に身を處すれば不滿も自ら解散すべし　丁と辛と寅が吉
●八白の人　變化を避け順なれば自然と地位高まるべし　丙と丁と庚が吉
●九紫の人　萬事好都合に運びて目的は到達する良日　戌と亥と壬が吉

慶安異聞 艶魔地獄

（禁上演映畫化）

玉水三郎 作　長谷川小信 畫

（百三十）

敵實説（二）

「八重ちゃん、私ね何日かお前とゆつくり話したいと思つてゐるんだけど、店にゐちゃア何うする間もないもんだから、ツイそれ切りになつてさ。一度何處かへ遊びに行かうぢやないか」

同じ水茶屋奉公する身が、斯うして打解けて來ると、もう敵實敵といふやうな氣にはなれない。

又お八重は永く遊女稼業をしても、根が大阪浪人高坂甚內の娘。嘘の厭ひな純な女で、他の茶汲み女の如き猜忌心など、夢にも持たぬ女であつた。

「眞實ですよ。私も今の奉公は初めてですから、マア古い姐さん達に可愛がられなくつちや、損ですからね、お瀧さんともお心易くしたいと思つても、御同樓に店を持つてると、何うする事も出來やしませんし」

「今日は向島の方へ、お客を取られたと見えて、此方は閑だから、丁度好いぢやありませんか。少し世間話でもしやうよ、ねえ八重ちゃん」

「はア花も八重が咲くと、向島は大變な人出ださうですから、こんな少し許りの櫻へは、人の足が向かないんでせう」

「さうかも知れない。時にお八重ちゃん、二三日前にお前が聞いた丸橋さんの事、判つたかえ」

「エ、兄さんが聞きに來たんで、お瀧さんに聞いた通り、あの金井樣のお仲好しで、いつも櫻町の由井先生の道場へ行つていらつしやるツて、兄さんに言つてやりましたから、多分もう丸橋樣に、お目に懸りましたらうよ」

「さうですよ。丸橋先生は江戸だから可いけど、金井樣は……」

「ア、さう〳〵、金井樣は大阪へお立ちになつたんだつてね」

「エ、もう少しの事で、私に沙汰なしで、出立してお了ひなさる所だつたの。眞個に男なんてもの、氣強いものね」

「それはお武家樣ですもの、何うしても……」

「私や侍厭ひ」

「あらお瀧さん、巧く言つてる。誰だつて知つてますよ。お二人の仲は……オホヽヽホ」

「でも大阪へ行つたら、往き復りだけでも、二十日は懸るつて……私二十日も會はずにゐたら、何うしやうかと思つて……」

「それもさうね、だが又其中に、飛脚でもお寄越しになりませうよ」

「八重ちゃんも兄さんがあるのね」

「エ、兄さんと言つても、義理ある仲でして……」

「さう御遠ひなの」

「イヽエ亡くなつた爺の弟子なんですよ」

「マアさう。それで子供衆はないの」

「一人男の子があるもんですから私も放つて置けませんで……」

「成程ね、私も兄が一人あるんです。もう兩親はないけど……ア、八重ちゃん、お前も夜は遊びだらう」

「エヽ店を仕舞ふと夜は自家で、つくろひ物なんかして、遊んでゐますの」

「ぢやア一度、私の兄さん許へ、遊びにお出でな、私の兄さんたら獨身で。年中家は開けッ放しなんだから、私も少し暇でも惡い時は養生に其處へ歸るの。だから兄さしに一晩遊ばうぢやないか、三味線でも彈いてさ。私美味しいお酒を奢るよ」

「有難う……」

「今夜都合は……好けりや、直ぐ近い新網坂だから……」

十二月二十五日　月曜
舊十一月九日　乙丑
先勝　除　危宿

●一白の人　思案甲斐もなく物事停滯の日興業開店等凶　辰と辛と亥が吉

●二黑の人　俄か雨に遇ふも雨宿りする場所も無き如し　丙と丁と壬が吉

●三碧の人　骨折り甲斐もなく意外の失敗をなす衰運日　乙と庚と亥が吉

●四綠の人　引立て呉れし人より見離さる親愛專一の日　辰と庚と亥が吉

●五黃の人　身を持する事堅固に誠實さへ有れば咎なし　甲と丙と丑が吉

●六白の人　順序立ちたる事は後々迄も功果を呈すべし　丁と丑とが吉

●七赤の人　横道に逸れず徐ろに直進すれば運氣益々吉　丙と寅が吉

●八白の人　周旋紹介は一切差控べし後日に過を招く　甲と壬と丑が吉

●九紫の人　喜悅は一家に充滿すべく企業開店普請等吉　甲と乙と亥が吉